

弥生(3月)

弥生という3月の別名は、「草木弥生月(くさきやおいつき)」を略したものです。

「弥」は「ますます」「いよいよ」を、「生」は「生い茂る」を意味し、多くの植物が成長することを表しています。

虫や動物も動き出し、人もなんとなく外に出たくなるような季節、そして、昼と夜の時間が同じになる春分の日、この日を境に季節が夏へ向かう節目です。

春分の日を挟んだ1週間は春の彼岸です。

彼岸とは仏教で西方にあるとされる極楽浄土のことです。春分の日には太陽が真西に沈む時、彼岸と現世・此岸(しがん)が1年のうちに一番近くになり、夕陽を介して彼岸とコンタクト出来ると考えられました。

上巳の節句(雛祭り)

三月三日は上巳の節句、雛祭りです。

上巳とは五節句の一つ。以前にも書きましたが五節句とは 尽日・上巳・端午・七夕・重陽のことです。

陰暦三月最初の巳の日、現暦の三月三日に相当します。古来宮中では、曲水の宴を催したそうで、民間では女兒の祝日として草餅・白酒などを食したが、のち人形を飾って祝う雛祭りとして後世に受け継がれている風習である。別名、桃の節句ともいう。

また雛祭りとは、三月三日の上巳の節句に、女兒のいる家で雛人形を飾り、菱餅・白酒・桃の花を供えて、女の子の成長を祈る行事のことである。

三人官女

宮中に仕える女官を表しています。向かって左から「加への銚子」「三方」「長柄の銚子」を持っています。

《なぜ雛人形を早く片づけなければならないか》

人の形をしているのに中身のない人形は、霊が出たり入ったりしやすいものと考えられていました。

これはすなわち、霊(魂)の入れ物です。

霊には、いい霊も邪悪な霊もあります。もし邪悪な霊が入ったらという想像が、人形に対する不思議な恐怖感につながっているのかも。早く片付けるように言われるのは、災いを早く遠ざけようとするためでしょう。



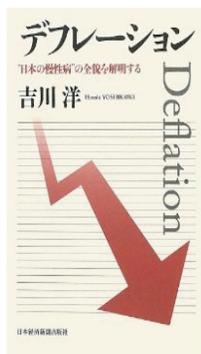
お内裏様



五人囃子

彼らは宴のための楽団を表しています。向かって右から「謡(うた)」「横笛」「小鼓」「大鼓」「太鼓」を持っています

【私の今月の一冊】



この本は、今の自民党の経済政策が、いかに危ういかを教えてくれています。中身は、数式とか出てきて全然わからないところが多々ありますが、読めるところだけ読んで現状の政策がいかに間違っているか自分なりに理解できます。

最低限言えることは、インフレターゲットは、インフレ時にインフレを抑えるために行う政策であって、デフレ時に行う政策ではないということと、なんぼ市場にお金を入れても、労働賃金の上昇がなければインフレにならない。(良いインフレ)

アベノミクス  
うまくいくかなー



【276文字の知恵】

般若心経

最近特に神仏関係に非常に興味があります。

南無妙法蓮華経と南無阿弥陀仏はお経じゃなく題目と念仏というそうです。知っていましたか。

私たちが知っているお経は、般若心経です。



### 魔訶般若波羅蜜多心経

「摩訶」というのは、マハからきたもので「偉大な」という意味です。「般若」は、パンニャに近い言葉で「知恵」という意味です。「波羅」は、「彼の地」と訳されていて「彼岸」の意味だそうです。すなわち理想郷という意味です。

魔訶般若波羅蜜多心経を訳すと「心の理想郷に到達するための偉大な知恵の教え」

心の理想郷は、人それぞれに解釈できる場所です。